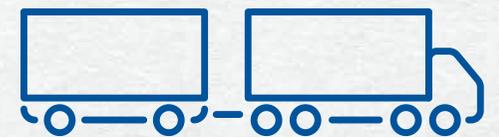
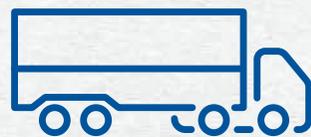


CSR報告書2025

Corporate Social Responsibility Report 2025



contents

- 01 **トップメッセージ / top message**
- 02-04 **会社情報 / company profile**
- 05-10 **トピックス2024 / topics 2024**
- 11-12 **経営とCSR / management & CSR**
- 13 **ガバナンスの取り組み / governance effort**
- 14-16 **お客様と、お取引先様とともに / customer & business partners**
- 17-22 **従業員とともに / with employees**
- 23-24 **安全衛生の推進 / health and safety**
- 25-29 **環境への取り組み / environment**
- 30-31 **地域社会とともに / community involvement**

持続可能な物流の未来へ

2024年問題を契機に、物流業界は従来の延長線上では立ち行かない「構造変革の時代」を迎えています。当社はこの変化を、より持続可能で効率的な物流を実現するための重要な転換点と捉えています。

トレーラメーカーとして、お客様の声に寄り添った製品開発と技術革新を通じ、次世代の物流インフラを支えていくことは、当社の重要な使命です。

その取り組みの一つが、需要増加に伴う長納期化や、原材料価格の高騰による車両価格上昇といった課題の解決を目的とした「TQO(トレクス・クイック・オーダー)」です。TQO製品の拡充・拡販を通じて、トレーラの短納期化と経済的な価格設定を推進し、お客様の課題解決に資する車両提供を通じて、物流現場を支えてまいります。

モーダルシフトと環境貢献

環境負荷低減とドライバーの働き方改革の両立が求められる中、フェリー輸送や鉄道輸送へのモーダルシフトは、ドライバー不足への対応や労働時間短縮の観点から、物流の持続可能性を高める有効な手段として注目されています。

当社は、多様なトレーラの提供を通じて効率的な積載・輸送を実現し、モーダルシフトの促進に寄与してきました。

今後も、物流の未来に求められるトレーラの在り方を追求し、お客様とともに環境負荷低減に取り組んでまいります。

安全な職場づくりと品質向上

当社は「安全で安心して働ける職場こそが、良い製品を生み出す」という信念を大切にしています。従業員一人ひとりの健康と安全が確保されてこそ、高い集中力と技能が発揮され、結果として品質の向上へとつながります。当社では、職場環境の整備や安全意識の向上に継続して取り組み、働く人が能力を最大限に発揮できる基盤づくりを進めています。人を大切にする企業姿勢は、製造業としての責任である「安全・品質」を支える根幹であり、これからも従業員が安心して働ける環境を整えることで、より信頼される製品づくりに努めてまいります。



日本トレクス株式会社
代表取締役社長

高崎文弘

会社概要

日本トレクス株式会社 (NIPPON TREX CO., LTD.)

所在地 愛知県豊川市伊奈町南山新田350
設立 1964年(昭和39年)8月1日
資本金 20億1,100万円
株主 極東開発工業株式会社
売上高 517億円(2025年3月期)
事業内容 トレーラ、タンク、ウイングボデー、バンボデー、バンキット、コンテナ、シェルタ、各種部品などの輸送用機器の製造販売、整備および修理



本社事業所

敷地面積 125,000㎡ / 建物面積 66,148㎡



音羽事業所

敷地面積 21,000㎡ / 建物面積 13,300㎡



御津事業所

敷地面積 36,300㎡ / 建物面積 10,600㎡

販売拠点 と サービス拠点

販売拠点

17カ所

北日本営業部

- ① 北海道支店
- ② 東北支店

東日本営業部

- ③ 関越支店
- ④ 新潟営業所
- ⑤ 千葉支店

首都圏営業部

- ⑥ 東京支店
- ⑦ 横浜支店

中部営業部

- ⑧ 静岡支店
- ⑨ 名古屋支店
- ⑩ 富山営業所

近畿営業部

- ⑪ 関西支店
- ⑫ 岡山支店

西日本営業部

- ⑬ 広島支店
- ⑭ 九州支店
- ⑮ 南九州支店

特装営業部

- ⑯ 特装営業部

営業本部

- ⑰ 直納課



サービス拠点

6カ所

サービス工場

全国 **348社**

- A トレクスサービスセンター北海道
- B トレクスサービスセンター中部
- C トレクスサービスセンター九州(北九州)
- D 東部ロードサービス課(仙台)
- E 東部ロードサービス課(東京)
- F 関西ロードサービス課(大阪)

トレクスの歴史・沿革

創業以来、輸送用機器メーカーとして、時代とともに変化する社会のニーズを捉え、満足いただける商品の提供を目標として活動してまいりました。

日本トレクスの半世紀にわたる歴史をご紹介します。



1964

日本トレールモービル(株)設立



1965

バンセミトレーラ試作
第1号車が完成



1966

アルミ製ドライコンテナの
国産第1号を生産



1978

海上コンテナ年間生産台数
過去最高の1万1,052台を記録



1987

ウイングボデーを生産開始



1992

ウイング車1万台達成



1992

音羽事業所が操業開始



1996

社名を「日本トレクス」へ変更

1964

1996



2003

スワップボデーを生産開始



2007

極東開発工業(株)が
当社発行済全株を取得



2014

創立50周年記念式典開催



2017

次世代断熱パネル
(PANECT)発売開始



2019

ダブル連結トラックを発売開始



2019

御津事業所が操業開始



2024

スワップ冷凍バンボデー
「グッドデザイン・ベスト100および
新ビジネスデザイン賞を受賞」



2025

本社E工場稼働開始

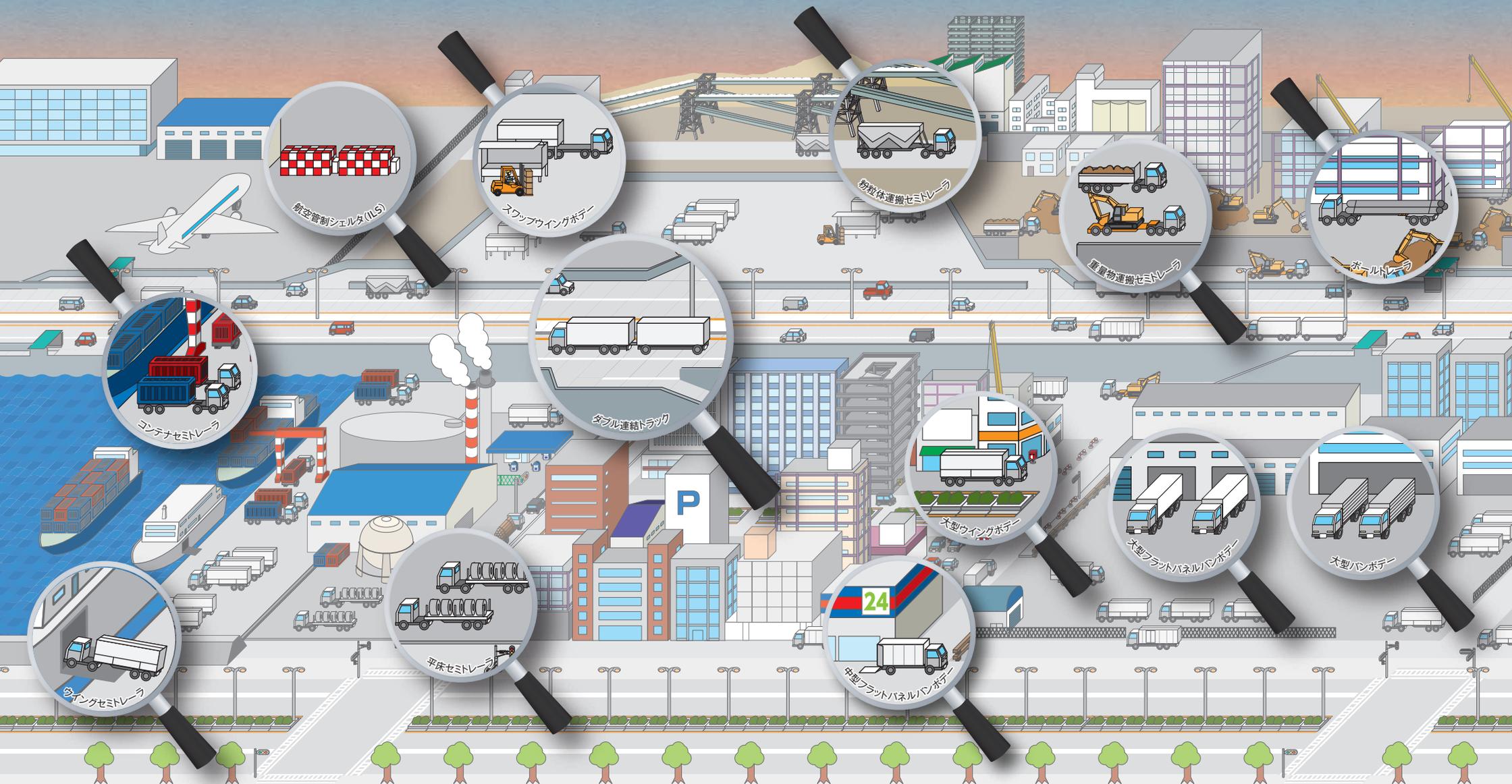
2003

2025

主要製品

街を見渡せば、そこにトレクス。

私たちの製品は、日々あらゆる場面で皆様の暮らしを支えています。



日本トレクス レポート2024

新工場(E工場)稼働開始

2025年2月



2025年2月にトレーラ生産専用の新工場(E工場)が稼働を開始しました。新工場では、トレーラの溶接工程と塗装工程を一貫生産ラインとしたほか、ショットブラストや粉体塗装などの重要工程をロボット化することで、省力化・省人化を推進しています。生産効率と品質の安定化を図るとともに、環境負荷低減にも配慮した工場となっております。750kWの太陽光発電システムを設置し、事業所全体の電力使用量の10~15%を再生可能エネルギーで賄うことが可能です。さらに、NAS電池蓄電システム(180kW)を導入し、休日や夜間の発電電力を有効活用することで、年間約443tのCO₂削減効果を見込んでいます。これらの取り組みにより、環境負荷低減と安定した生産体制を両立。今後も、省エネ・省力化技術の導入と効率的な製造体制の確立を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

トレーラ生産工場(E工場)

生産品目	ウイングセミトレーラ、コンテナトレーラ 他
建築面積	12,148㎡
生産能力	3,000台(当初計画)
投資額	53億円

ロボット	台数
ショットブラスト	12台
粉体塗装	4台
AGV	5台
メインレール自動溶接機	2機



天井全体に張りめぐらされた太陽光発電パネル



工場北側から



メインレール自動溶接機



ロボットによる粉体塗装



NAS電池

日本トレクス レポート2024

スワップ冷凍バンポデーが「2024年度グッドデザイン賞」を受賞

2024年10月



スワップ冷凍バンポデーは、キャリア(シャシ部分)とポデー(荷台部分)を切り離すことができる冷凍バントラック(温度管理車)で、「物流の2024年問題」解決に貢献できる製品のひとつとして開発をおこなっていました。働き方改革をキーワードとし、デザインのポイントである ①荷積み荷下ろし関連業務からの開放によりドライバーは運転業務に専念可能 ②中継輸送による日帰り運行 ③ポデー単体であらかじめ冷やして置くことでドライバー稼働効率向上といった3つのコンセプトが認められ、「2024年度グッドデザイン賞ベスト100」およびベスト100の中から選定される「グッドフォーカス賞[新ビジネスデザイン]」(経済産業省 商務・サービス審議官賞)を受賞いたしました。当社ではものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進し、ブランドイメージの向上に努めてまいります。



GOOD DESIGN

グッドデザイン賞とは？

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<https://www.g-mark.org/>

グッドデザイン・ベスト100とは？

グッドデザイン・ベスト100は、その年のすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、審美性、提案性、可能性などにおいて総合的に優れているとして高い評価を受けた100点です。今日におけるデザインの水準を高めるに相応しい、これからのモデルとなりうるデザインとして選出されました。

グッドフォーカス賞[新ビジネスデザイン]とは？

グッドフォーカス賞[新ビジネスデザイン]は、[グッドデザイン・ベスト100]から特別審査会により選定されます。新たなビジネスモデルや新産業の創出、イノベーションの促進に寄与する特に優れたデザインとして表彰される、大賞・金賞に続く特別賞です。

GOOD DESIGN AWARD 2024
BEST 100GOOD DESIGN AWARD 2024
GOOD FOCUS
NEW BUSINESS DESIGN

審査委員の評価コメント

深刻な輸送能力不足に直面する物流の2024年問題に対し、非常にシンプルで実的な解決策を提供している。冷凍荷台部分に簡便な折りたたみ式の脚を搭載し、車両側には装備を追加することなく、標準搭載されているエアサスによる車体の上下機能を用いることで、冷凍荷台部分の中継輸送を可能とした点を高く評価した。荷台が分離でき、また、積み替えなく中継できることで、ドライバーは、荷積み関連の業務から解放され、日帰り運行も可能となる。日本車体工業会の統一規格として採用された点も大きな実績である。

日本トレクス レポート2024

トレクスドライビングスクール開校

2024年4月



当社では、物流業界が抱える2024年問題の解決に向けた取り組みの一環として、ドライビングスクールを開校しました。お客様からは以前より、「現物に触れて導入を検討したい」「トラックからトレーラへのステップアップを支援してほしい」といった声を多数いただいております。そうしたご要望にお応えする形で、2024年4月よりセミトレーラコースを、同年10月には、ダブル連結トラックコースを開校しました。ダブル連結トラックは、ドライバー不足の解消や物流効率化、CO₂排出削減など、さまざまな課題の解決に貢献する車両として注目されています。本スクールでは、ダブル連結トラックの運転に必要な「修了証」の発行をはじめ、安全教育など、運送会社様のニーズに応じた講習を実施しております。今後も、トレーラメーカーとしての強みを活かし、持続可能な物流の実現に貢献してまいります。



トレーラメーカーが行う トレーラに特化した

TREX トレクス 大型トラックに専用 (セミAT車)

ドライビングスクール

こんな企業様に朗報!

トレーラを導入しようとお考えの企業様

トラックからトレーラのドライバーへステップアップしたい方

初心者トレーラドライバーの方

さらに/**ダブル連結トラックを使用した講習も開校予定!**

研修項目 時間 9:30~16:30
トラックセミトレーラセット使用

- トレーラの基礎知識 (座学)
- 同乗体験・連結方法・長さを知る etc
- 走行の基礎知識 (右左折・進路変更)
- 昼食 (トレクスで準備)
- 後退操作 (直線・クランク)
- 後退操作 (直線・クランク)
- 総合走行

受講費用 **88,000円 (税込)** お申込みは企業様単位で受け付けております。(推奨参加人数: 14名)

お問合わせ 日本トレクスHP内のドライビングスクール問合せフォームもしくは 弊社担当営業 までお問い合わせいたします

TREX トレクス NEW!

ドライビングスクール

ダブル連結トラックコース

こんな企業様に朗報!

ダブル連結トラック導入を考えていて

ドライバーを増員したい!

ドライバー教育を行いたい!

ダブル連結トラックの運転に必要な修了証を取得できます!!

修了証の発行に必要な条件 長さ21mを超えるフルトレーラ専用車を運転する方(半日、7時間)以上の実務を要する場合があります。

条件1) 安全講習受講者 安全講習受講者 1年以上免許を有効にしている方 資格 12時間 直近3年間無事故 普通免許がある方 受け可

条件2) 大型自動車運転免許に普通車種以上を所持し、安全講習受講者 1年以上免許を有効にしている方 資格 12時間 直近3年間無事故 普通免許がある方 受け可

● **1日コース** 受講で修了証取得 ● **2日コース** 受講で修了証取得

研修項目 1日コースの場合 時間 9:30~16:30 トリ-分離式ダブル連結トラック1台使用
*2日コースはカリキュラムが異なります。詳しくはお問合せください。

- ダブル連結トラックの基礎知識 (座学)
- 同乗体験・連結切り離し方法 etc
- 車両感覚の習得 (右カーブ/右折)
- 車両感覚の習得 (左カーブ/左折)
- 後退操作 (直線/バック/交差点での後退)
- 総合走行

受講 参加人数に **1日コース (税込) 198,000円** **2日コース (税込) 396,000円** お申込みは企業様単位で受け付けております。(推奨参加人数: 14名) 費用 関わらず

お問合わせ 日本トレクスHP内のドライビングスクール問合せフォームもしくは 弊社担当営業 までお問い合わせいたします

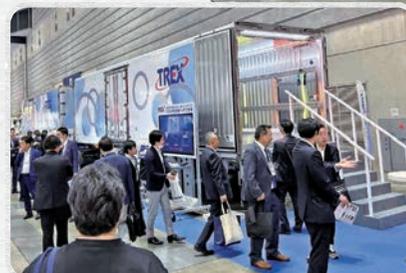
日本トレクス レポート2024

「ジャパントラックショー2024」へ出展

2024年5月



2024年5月9日(木)~11日(土)の3日間にわたり、「ジャパントラックショー2024」がパシフィコ横浜(横浜市西区みなとみらい)で開催されました。当社は、冷凍機能を持つスワップボデーの積載を可能としたフルトラックに冷凍フルトレーラを組み合わせた冷凍ダブル連結トラックと、欧州大手トレーラメーカーであるシュミッツ製ダンブセミトレーラ(参考出品)の展示を行いました。会期中は、物流の2024年問題解決に向け、両製品の持つ輸送効率や利便性といったメリットをご紹介し、多くの皆さまに当社グループの製品PRを実施しました。また、会期中はテレビなどの各種メディアにも取り上げられ、一般の皆さまにも、物流業界が直面するドライバー不足に伴う輸送力不足の実態と、それに対する当社製品の有効性を広く認知いただく機会となりました。



「ジャパントラックショー in Fujispeedway 2024」へ出展

ジャパントラックショーのスピノフ企画として、10月27日(日)に富士スピードウェイで開催された「ジャパントラックショー in Fujispeedway 2024」に、横浜でのトラックショーに続き、冷凍ダブル連結トラックを出展しました。当社ブースでは、ショートサーキットを貸し切り、冷凍ダブル連結トラックの体験試乗会を実施。応募者120名の中から抽選で選ばれた60名の皆さまにご試乗いただきました。参加者からは、「思ったより内輪差が少なく乗りやすい」「実際に運転できて楽しかった」といった感想を多数いただき、ダブル連結トラックの操作性や実用性を体感していただく機会となりました。



日本トレクス レポート2024

廃木材を活用したノベルティで環境問題に貢献

2024年6月



製品製造時に発生する廃木材を再利用し、環境への配慮を形にしたノベルティ製作に取り組んでいます。同じ豊川市内の「ミニチュアファクトリー」と協力し、製造工程で不要となった床材端材を活用した木製キーホルダーを制作。2024年度は約800個を製作し、お客様をはじめ、展示会やイベントなどで配布しました。スマートフォンホルダーとしても使える実用的なデザインは、受け取った方にも好評で、廃材を資源として再活用する当社の環境への取り組みを身近に感じていただけるアイテムとなりました。今後もものづくり企業として環境にやさしい活動を推進してまいります。



『小学生ラジオCMコンテスト』に参加

2024年7月



地元ラジオ局エフエム豊橋主催の小学生ラジオCMコンテストに参加しました。東三河に住む地元の児童が、会社説明や工場見学を通して『見たこと、聞いたこと』をもとにラジオCMを制作し、実際にナレーターとしてCM収録するという体験企画です。7月25日(木)に開催され、トレーラやトラックボデーを製造している現場の見学や、冷凍車を使った冷凍体験を通して、ラジオCMを作っていただきました。個性あふれる作品は、エフエム豊橋番組内で放送され、日本トレクスを広くPRしていただくことができました。



日本トレクス レポート2024

日本トレクス×イオンモール豊川『冷凍車体験でクールシェア』へ出展

2024年8月



2024年8月3日(土)に愛知県豊川市のイオンモール豊川とのコラボ企画「冷凍車体験でクールシェア & クイズラリーではたらく車について学ぼう」イベントが開催され、日本トレクスにまつわるクイズラリーの他、冷凍ダブル連結トラックと資材運搬車「いなりん号」を展出了。普段街中で見ることができないダブル連結トラックは注目のため、庫内では最大マイナス30℃の世界を体験していただきました。日本トレクスでは、製品を使用した体験機会の提供を通じて地域の方々に企業活動の認知や愛着を図ることを目的に、今後も様々なイベントに参加してまいります。



『ハタラクエール2025』に初めて認証されました

2025年3月



福利厚生充実、活用に意欲のある企業として、福利厚生表彰・認証制度実行委員会による福利厚生表彰・認証制度「ハタラクエール」に初めて認証されました。「ハタラクエール」は福利厚生表彰・認証制度実行委員会がおこなう福利厚生表彰・認証制度の愛称です。福利厚生の一層の普及・発展を目的に、優れた福利厚生を実施する法人、およびこれから福利厚生の充実を図ろうとする意欲ある法人を表彰・認証しています。今後も当社は「従業員が長きにわたり元気に生き活きと、そして安心して働くことができる会社」を目指して、従業員とその家族の心と身体の健康保持・増進に向けた取り組みをより一層推進してまいります。



CSRに対する基本的な考え方

当社は、長年にわたり培ってきた技術と信頼を軸に、お客様やお取引先様などをはじめとしたステークホルダーの皆様とともに、世の中の発展に向けて、新たな価値を創造してまいります。
2013年にCSRポリシーとして「日本トレクスビジネス行動規範」を制定し、これをベースにステークホルダーの皆様とともにスパイラルアップしながら、社会の発展に貢献していきたいと考えています。

企業理念

**お客様の信頼に応える
最高の輸送機器とサービスを提供することにより
物流の発展を推進し 社会へ豊かさと夢を広げる**

ビジネス行動規範(抜粋)

企業が効率や利益を追求し競争を行うこと自体は、正常な企業活動です。
しかし、利益の追求、競争が高すぎるあまり、企業活動が社会的正義に反するものになってはなりません。
日本トレクスの企業活動は、
お客様やお取引先様をはじめ、株主、地域社会などの数多くの人々との関係の中で成り立っており、
健全な企業活動を通じて、これらの人々の期待に応える責任があります。
日本トレクスは、企業としての社会的役割、責任を自覚し、社会とともに成長し発展し続けます。

日本トレクスとSDGs

2015年9月に国連総会で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」を受け、当社もSDGsに貢献する取り組みを推進しています。

具体的には、2018年度に実施したCSR活動項目の刷新時にSDGsの関連付けを開始。

SDGsの達成に向け、社会の一員としての役割と責任を果たすために、積極的に取り組んでまいります。

重要課題

社会課題の解決につながる当社グループの取り組みを、バリューチェーンに沿って特定しました。

事業を通じてこれらに重点的に取り組むことで、

SDGsの達成と持続可能な社会の実現に大きく貢献しています。

SDGsの
目標達成に向けて
正の影響を強化
することができる
取り組み



ステークホルダーエンゲージメントは
全工程において実施



働きがいのある職場づくり



ダイバーシティ経営



技術教育・伝承



エコ設計(エコな製品づくり)



物流製品の製造販売



SDGsの
目標達成に向けて
負の影響を抑制
することができる
取り組み



CSR調達



安全な職場づくり



省エネ活動
業務効率の改善



製品講習会の開催
(適切な使用法の指導)
アフターサービスの充実



製品のリサイクル

ガバナンスの取り組み

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は持続的な発展による企業価値の向上こそが経営上の最重要課題であると位置づけております。

そのためには経営の健全性を確保し、全社に法令遵守を徹底し、企業の社会的責任を果たすことが必要であると考えております。

また、今日のように社会環境が激しく変化し続けるなかで、これに迅速に対応する効率的な経営体制を構築し、さらに向上させるべく努めてまいります。

コンプライアンス

法令や社内のルールなど、コンプライアンスに沿った行動を従業員が取れるよう、従業員が守るべきルールを『日本トレクスビジネス行動規範』に定めるとともに、全従業員を対象にした社内ネットワーク上での『コンプライアンス教育』を実施しています。また、コンプライアンスに関する相談や不正行為等の通報のために外部機関に担当者を置いた『コンプライアンス・ホットライン』を設置し、通報者の保護を徹底した内部通報制度を運用しています。

事業継続(BCP)

当社は大規模地震など不測の事態が発生した場合の対策として「地震防災関連規定」を制定し、そのうえで人命の安全確保が最優先と考え、従業員やその家族の安否が携帯電話でいち早く確認できるシステム(オクレンジャー)を導入しています。また、各事業所や営業所では、万が一の事態に備えて防災備蓄品を常備し、復旧に向けた対応ができるよう対策しています。



防災備品



備蓄食料品



防災のしおり

情報セキュリティへの取り組み

当社は情報資産を適切に管理・保護するとともにサイバー攻撃等の脅威に対応すべく情報セキュリティに関する各種規定を策定し、これに基づくセキュリティ対策に取り組んでいます。また、情報セキュリティに関する意識向上と技術レベル向上のため、従業員に対して継続的に教育を行い、その遵守の徹底を図っています。

情報セキュリティ教育

テーマ	実施日
メール送信による情報漏洩にご注意ください	2024年 7月
対話型生成AIサービス利用による情報漏洩にご注意ください	2024年 10月
サイバー攻撃にご注意を!	2025年 2月

反社会的勢力に対する対応

当社は社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体と一切関係を持たず断固として対決します。反社会的勢力および団体からの接触を受けた際には、警察・弁護士など外部機関との連携を図るとともに、経営トップをはじめとして全社一丸となって組織的に対応を行います。

品質保証

品質保証体制

当社では、お客様の信頼に応え、満足される商品とサービスを提供し続けるため、社長をトップとした品質保証体制を構築しています。「品質向上会議」や「品質確認会」を定期的で開催し、使用時におけるリスクの低減を図るとともに、より良い製品づくりに向けて改善活動を継続して行っています。また、製作の技術向上のため社内にて、実技指導を交えた特殊工程従業者教育を実施しております。



品質向上会議



特殊工程従業者教育

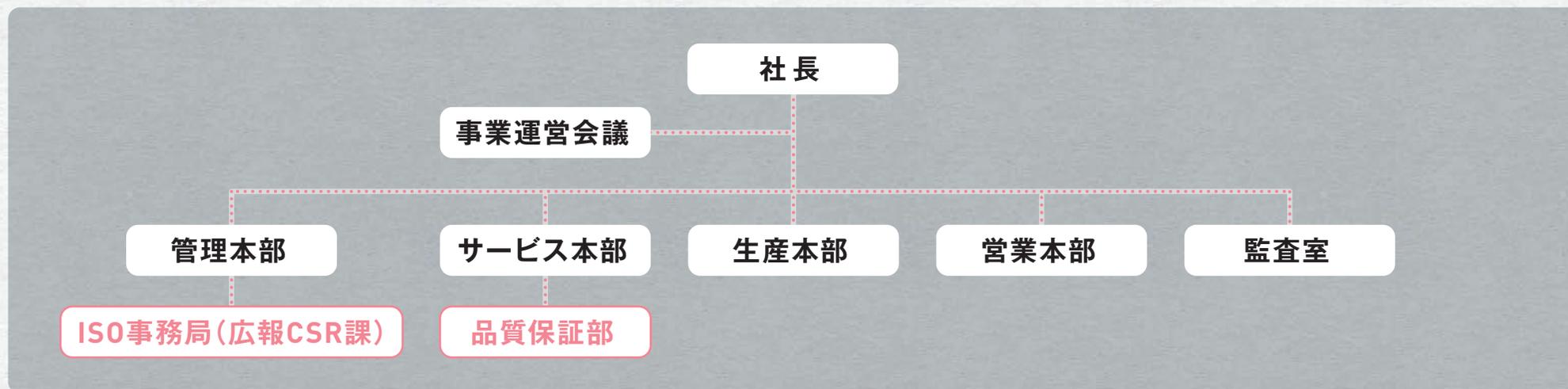
品質マネジメントシステムの運用

日本トレクスでは全事業所で品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001(2015年度版)の認証を取得しています。各事業所では「改善計画策定」「改善実行」「達成状況の評価」「次の改善への反映」のPDCAサイクルを徹底し、製品安全の確保、品質の確保、継続的品質の改善に努めるとともに、品質マネジメントシステムの有効性監査を2000年度から継続して実施しています。

情報開示

当社製品におけるリコール・改善対策・サービスキャンペーンといった市場改修に関しては、速やかに所轄官庁に報告する体制を整えています。それとあわせて、できるだけ早期にお客様にその情報が伝わるようにホームページやダイレクトメールでお知らせを行っています。なお、リコール等の情報については、当社ホームページでもご覧いただけます。

届出日	件名	対象機種
2024年10月15日	ドリー付バントレーラ フェンダーステー折損に関する市場改修	トレーラ
2024年10月29日	トレーラのプレーキ・チャンパ誤品組付けに関する市場改修	トレーラ
2025年3月12日	トレーラの車幅灯の取付位置に関する市場改修	トレーラ



サービス品質向上に向けた取り組み

当社では、サービス品質向上の一環として、製品が本来もっている性能をフルに発揮し、長期間にわたり当社製品を安全に安心してご使用いただけるよう、技術的な知識や整備に関するノウハウについて講習会を開催しております。

2024年度は「整備講習会」34回、「安全講習会」26回、「意見交換会」5回と計65回の講習会を行いました。

今後も全国のサービス網と連携しながら、継続したアフターサービスを提供することで、お客様満足度の更なる向上を目指してまいります。

整備講習会

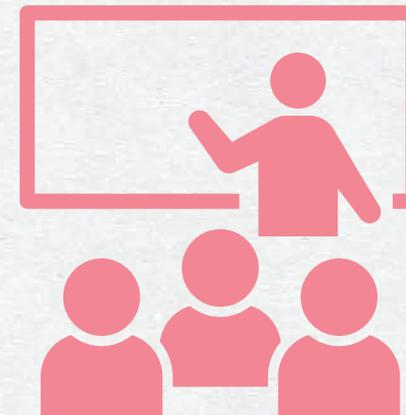
34回

安全講習会

26回

意見交換会

5回



整備講習会の開催

ディーラー整備担当者およびユーザー整備担当者に対し、「車軸・エアサスペンション・ブレーキ・ウイングボデー」の整備方法について、より理解を深めてもらうため、トレーニングセンターを設けて講習会を開催しています。トレーニングセンターでの講習会以外にも、トレーニング機材をお客様のもとへお届けしての出張講習も実施しています。



安全講習会の開催

ドライバー・運行管理者向けの講習会で、「始業前点検・定期交換部品・構造説明」に重点を置き講習を行うことで、安全運行に関する知識を深めていただきます。



運転講習会の開催

トレーラを新規導入されるお客様を対象として、操作方法や注意事項を習得していただくことにより、トレーラの運転に対する理解を深めていただきます。



トレーラ新車点検制度

新車登録後、1か月の時点で、異常がないかを確認させていただくための点検です。トレクスのトレーラは全車『1か月新車点検サービス』を行っており、安心してお使いいただけるよう、エア漏れやナットの緩みなど、30項目以上ののぼる点検を無料で実施しています。

CSR調達

日本トレクスは企業理念の実現のため、高品質で環境に優しくコストパフォーマンスに優れた部品や原材料、設備の調達を目指しています。

そのためには、お取引先様と当社が対等な立場で相互に信頼し、共存共栄できる関係をつくることが重要だと考えています。

また、環境方針を資材調達活動の基本的な考え方の一つとしてとらえ、これらを基に「調達方針」を制定し、お取引先様に対してご協力をお願いしています。

品質と安全性の
確保

お取引先様との
公平・公正な選定

納期の遵守

調達方針

お取引先様との交流

中長期的な経営戦略や生産・販売・調達に関する方針をお取引先様と共有するため、毎年「総会」および「賀詞交歓会」を開催しています。

また、お取引先様で構成される「協力会」とも連携し、定期的に情報を交換しています。



グリーン調達

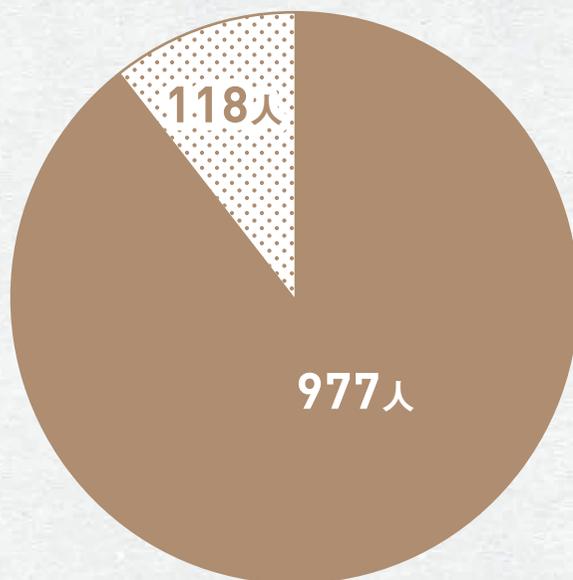
地球環境・地域環境に配慮した製品を社会に提供するため、環境に配慮した活動を行うお取引先様から、環境負荷がより少ない物品を調達するよう努めています。

雇用状況

日本トレクスでは、1,095人の従業員が働いています。[2025年3月末時点]

従業員数

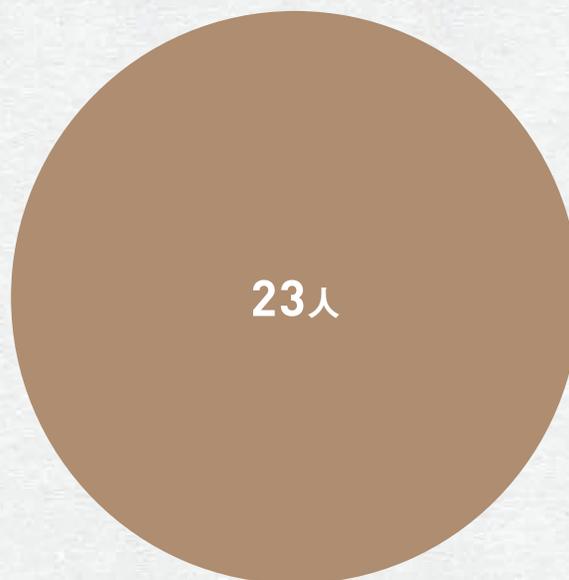
1,095人



■ 男性 □ 女性

新卒採用者数

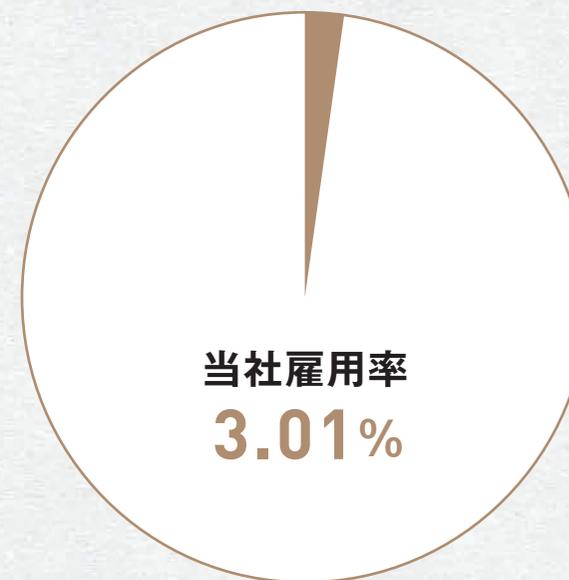
23人



■ 男性 □ 女性

障がい者雇用人数

26人



法定雇用率 2.5%

※正社員・契約社員・パートの合計人数
 ※出向者は出向先を含む
 ※管理者含む

育児・介護に向けた支援

従業員が安心して育児や介護に専念できるよう、短時間勤務や時間差勤務制度など、労働時間に関する制度のほか、産前産後の通院に配慮した制度や復職に際しての制度を設けるなど、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けた体制づくりを進めています。



育児取得者数

13人

男性 取得率 43%

女性 取得率 100%

育児取得者のコメント ① 育児を取得したご本人の感想・思い ② ご家族からの感想・コメント



人事課 S・Iさん

- ① 第1子ということもあり、初めての育児は分からないことばかりで、想像以上に大変でした。一方で、家族と過ごす日常の何気ない瞬間に幸せを感じることも多く、非常に有意義な期間となり、貴重な経験をすることができました。
- ② 夫が育児を取得してくれたことで、2人そろって育児のスタートラインに立つことができました。育児の大変さや娘の可愛さをリアルタイムで共有できたことは、何物にも代えがたい経験です。そのおかげで心身ともに余裕を持って過ごすことができ、心から感謝しています。



サービス課 Y・Mさん

- ① 出産予定日から1年間、育児休業を取得しました。出産は予定日より数日遅れましたが、予定日から休みをいただけたことで、妻・私ともに無理なく出産に臨むことができました。子どもが1歳になるまでの1年間はあっという間でしたが、非常に貴重で有意義な期間となりました。また、休業中に業務をカバーしてくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。
- ② 出産後すぐに夫が育児を取得してくれたおかげで、日々の育児に不安を感じることなく過ごすことができました。また、今しか見られない子どもの成長を一緒に見守ることができ、非常に貴重な1年となりました。



調達課 S・Hさん

- ① 第2子の誕生に伴い、2度目の育児を取得しました。周囲の温かい支えのおかげで、安心して子育てに向き合うことができました。日々の小さな成長を間近で感じられ、この時期ならではの貴重な時間を過ごせたことを嬉しく思います。
- ② 妻が育児を取得してくれたことで、時間にも気持ちにも余裕が生まれました。子どもたちとの時間を大切にしながら、安心して仕事に取り組むことができ、とても心強く感じました。

人材育成

従業員の成長と役割自覚、やりがい、働きがいを形成する人事制度や研修、表彰制度などを運用しています。



人事制度

従業員自身が関わった業績への自己評価やキャリア形成の意向、異動の希望などを申告する機会を定期的に設け、従業員一人ひとりが自身に求められる期待や役割を自発的に果たせる人材に成長できるよう、人事制度を運用しています。また当社では「より仕事を通じた価値創造のできる人材育成」を進めることを目的とした人事制度を運用しています。



能力開発制度

勤務年数や役職に合わせて職務に必要なスキルを身につける「階層別研修」と、職業人生における今後のキャリア形成を支援する「キャリア研修」を実施し、年間を通じて従業員自らが能力開発していく基盤づくりをサポートしています。



従業員表彰制度

〈改善実施賞制度〉では、品質・安全の向上、原価の低減など、従業員の創意工夫による改善実施の結果を適正に評価し、優秀な改善事例については、年2回開催される発表会で紹介され、従業員同士で認識を共有しています。また〈安全表彰制度〉では、安全意識を高揚し、労働災害の減少を図るため、他の規範と認められた職場を表彰し、自主的な安全衛生の推進を促進しています。



自己啓発通信教育奨励制度

語学・資格取得対策・専門技術・特殊技能などさまざまな分野の通信教育約250講座の中から、各自が自由に選択して受講することができる制度です。修了状況に応じて通信教育受講料を最大全額奨励金として支給し、従業員の自発的なスキル向上を促進しています。



技能講習会・技能検定

製品の品質向上と技能伝承を目的に、従業員を対象とした各種業務に必要な技術の講習会や検定を実施しています。

- 玉掛け技能講習
- プレス作業主任者技能講習
- ガス溶接技能講習
- 木材加工用機械作業主任者技能講習
- 高所作業車技能講習
- クレーン特別教育 他
- フォークリフト技能講習



善行賞表彰制度

職務に精励し、顕著な功績があった者および社会的に善行があったと認められる者をたたえることで、その功労に報いるとともに従業員の勤務意欲の高揚と業務効率の推進を図ることを目的として表彰を行っています。

- 人命救助 1件
- 特殊詐欺を未然に防ぎ、功労があったもの 1件



改善事例発表会



新入社員研修



クレーン特別教育



アーク溶接特別教育



墜落制止器具安全教育



善行賞

より良い職場環境へ

職場環境改善

安心して働ける職場環境づくりには、従業員の安全・健康に対する配慮の徹底が不可欠と考え、健康維持・増進に向けたさまざまな施策を実施しています。

熱中症対策

夏場の熱中症対策として、水分・塩分補給のためのスポーツドリンク、塩飴の配布を行うとともに、空調服の貸与を行っています。また、職場環境の改善として、工場屋根の断熱化を順次進めるとともに、スポットクーラー等の設備導入も推進しています。



AED(自動体外式除細動器)の設置

本社事業所に4台、音羽事業所に2台、御津事業所に2台、御津車両センターに1台常備しています。必要時に迅速かつ適切にAEDが使用できるよう、各職場ごとに救急救命講習修了者を配置し、来社されたお客様や従業員、地域の皆様の万一の事態に備えています。

レクリエーション

コミュニケーションの取りやすい風通しの良い職場づくりに向けて、社内レクリエーションや各種クラブ活動に積極的に取り組んでいます。



トレクスサイクリングクラブ

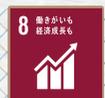


トレクスランニングクラブ



トレクスボウリングクラブ

with employees



健康経営への取り組み

日本トレクスでは、従業員が心身ともに健康であることを第一とし、会社・労働組合・従業員が一体となり、健康経営への取り組みを進めています。

お客様に満足していただける製品づくりも、従業員一人ひとりの力がないと成り立ちません。

従業員の健康と個人の能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを推進するため、「健康経営宣言」を制定しています。

健康経営優良法人認定

2020年度より継続して健康経営優良法人に認定されています。
今後とも各種取り組みを推進し、
健康経営のさらなる推進・発展に取り組んでまいります。



カラダの健康

従業員の健康維持・増進を目的に、朝のラジオ体操や血管年齢測定会など、日常的に健康をサポートする取り組みを実施しています。

また、健康保険組合と協働し、各種健康セミナーやウォーキングキャンペーンを開催することで、健康意識の向上を図っています。

さらに、運動を楽しみながら無理なく習慣化してもらえるよう、従業員とその家族が参加できる「ゆるRUN」を開催するなど、継続しやすい健康づくりの機会を提供しています。



ラジオ体操



ゆるRUN

がん対策推進企業アクション 推進パートナー登録

当社は国家プロジェクト『がん対策推進企業アクション』の推進パートナーとして登録し、人間ドックやがん検診の受診促進を通じて、安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

また、2022年からは線虫N-NOSE検査の受診者に対し補助金を支給するなど、がんの早期発見を支える取り組みも進めています。

禁煙の取り組み

2023年10月より敷地内全面禁煙としました。

現状、社員の喫煙率が高いことを受けて、喫煙率低下を目標に、従業員の禁煙をサポートするべく、健康保険組合と共同で禁煙支援を行っております。

とよかわ健幸マイレージ(企業チャレンジ)参加

豊川市の企画に参加し、従業員の健康づくりを応援。

健康経営への取り組み

ココロの健康

ストレスチェックや面談を行い、メンタルヘルスが損なわれることのないような職場づくりを進めています。万が一、従業員がメンタルヘル스에不調をきたした場合は、専門機関と提携して医療職との面談を重ねながら、職場復帰のためのフォローを行っています。また、管理者・従業員に対し、専門の講師を招いて「ハラスメント研修」を開催し、誰もが働きやすい職場づくりに向けた啓蒙を進めています。

- 高ストレス者への産業医面談実施
- カウンセリングサービス(外部相談窓口)設置
- こころのサポートホットライン設置

休暇の制定

〈アニバーサリー休暇〉では定期的に心身ともにリフレッシュを図ることを支援するため、6日間/年をアニバーサリー休暇として従業員各自が設定、計画的に年次有給休暇を取得しています。

〈永年勤続制度〉では勤続10年ごとに従業員に感謝の意を表し、連続5日間の休暇を付与する制度を導入しています。

末長く働くことができる環境整備のために

病気や怪我によって会社を休むことになった場合でも、生活の心配をすることなく療養に専念できる環境を整えること、早期の就労復帰を支援することを目的に、GLTD制度(傷病による長期療養時の給与補償制度)を導入しております。

※GLTD : Group Long Term Disabilityの頭文字をとったもので、長期間仕事ができない状態という意味。

健康食堂への取り組み

従業員の食生活改善は、健康経営において重要な取り組みのひとつです。従業員の健康な身体づくりをサポートするため、夏バテ防止をテーマにしたメニュー、動脈硬化や糖尿病の予防をテーマにしたメニューなど、毎月テーマごとに管理栄養士考案メニューを提供。旬の食材を通して健康について意識できるように工夫しています。



安全衛生に向けた取り組み

当社では、従業員の安全と健康の確保が企業存続の基盤を成すものと認識し、安全衛生管理規定に基づいて、さまざまな安全運動に取り組んでいます。

+

安全衛生委員会の開催

毎月1回、それぞれの職場で発生した事故やケガの状況、安全に関する取り組み事例の紹介など、安全衛生に関する情報交換や問題解決に向けた話し合いを行っています。



安全衛生委員会の様子

+

安全巡視(パトロール)の実施

メンバーが作業エリアを分担してパトロールを実施し、不安全な作業の廃止や、不安全な状況の改善に向けて、見回り活動を行っています。



安全巡視の様子

+

安全体感教育の実施

災害を疑似体感できる装置を用いた「安全体感教育」を協力会社を含め全従業員に実施しています。今年度よりVR(バーチャルリアリティ)体感装置を導入し、よりリアルな安全教育を実施することで、危険に対する感受性を高めています。



安全体感教育の様子



VR体感教育の様子

+

防災訓練・AED講習

各事業所ごとに「自衛消防隊組織」を編成するとともに、いざという時に従業員自らが安全行動を取れるよう、大規模地震を想定した訓練を行っています。また、防災訓練時や入社した従業員に対しAED講習会を行い緊急事態の場合に対応できるようにしています。



消火訓練の様子



簡易トイレの設置訓練の様子

+

安全祈願の実施

本社事業所内に建立された明神社では、毎月第1営業日に、社長、役員および管理監督者による安全祈願が執り行われ、安全意識の高揚が図られています。



安全祈願の様子

+

職場改善活動の実施

外部コンサルタントを講師に迎え、業務遂行に必要なスキルを実践を通して身に付けることを目的に、グループ毎に問題点を抽出し、共有・改善を進めることで職場環境を整えています。



OJT中間報告会



モデル職場

営業活動での安全対策

事故や災害は工場に限ったことではありません。当社では、日々の営業活動においてより安全で、かつ安心して移動できるよう、社有車にドライブレコーダーを設置しております。また、運行の前後にアルコール検知器を使用し、飲酒の有無を確認しています。



ドライブレコーダー

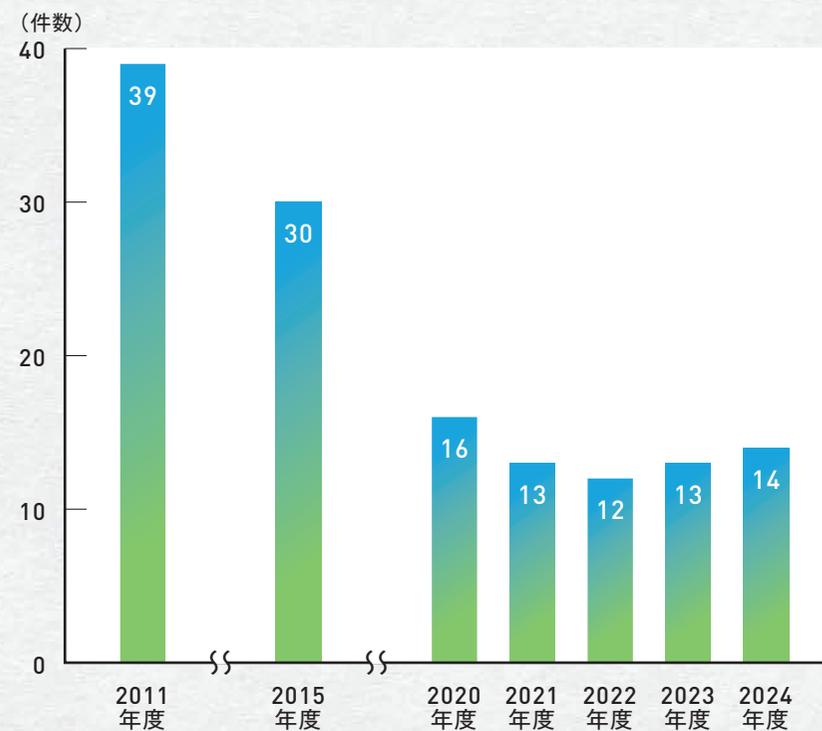


アルコール検知テスト

安全成績

労働災害発生件数の削減に取り組んでおりますが、2023年度は13件、2024年度は14件発生しました。2025年度はあらためて「労働災害ゼロ」を目標に、従業員の健康管理を含めた労災防止に努めてまいります。

災害発生件数の推移



基本姿勢

当社は生産に必要な資源やエネルギーはもちろんのこと、さまざまな点で自然から多大なる恩恵を受けて事業活動を行っています。
これを念頭に、地球環境をより良い状態で次の世代へ引き継ぐための活動を、あらゆる事業の場面で自主的かつ積極的に行っています。
私たち人類にとって、地球環境はかけがえのないものです。当社は、環境を守ることが企業の責務であり、経営の重要課題であると考えています。

1

環境問題に
積極的に取り組み
循環型社会を
追求する

2

地球環境の
保全に役立つ
技術開発を
指向する

3

公害防止、
省エネルギーに
配慮する

4

製品の
再資源化に
注力する

5

良好な環境の
維持向上に努める

ISO14001への対応

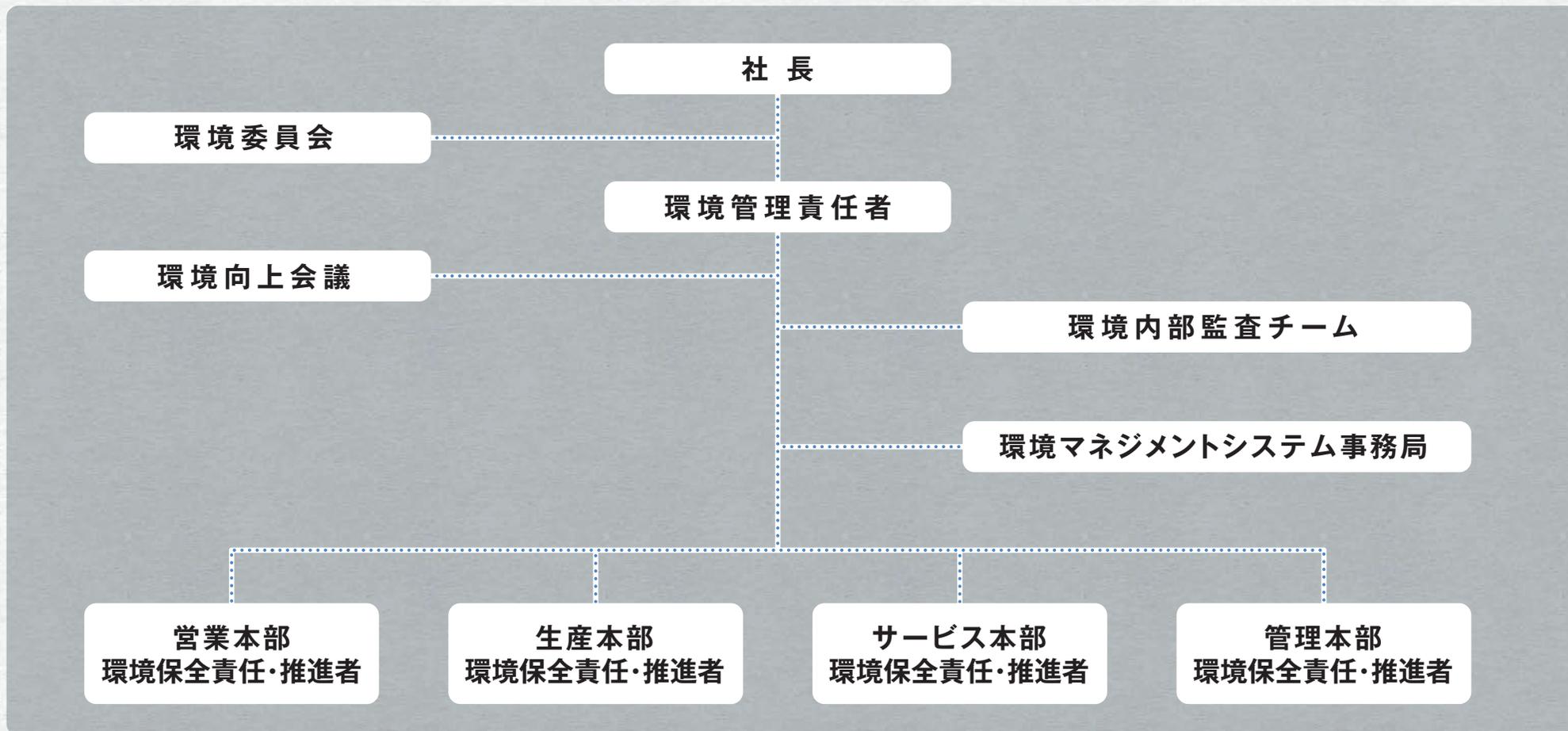
環境保全活動を組織的に運営していくため、本社事業所、音羽事業所、御津事業所の3つの全事業所において、ISO14001の認証を取得しています。



推進体制

社長を環境最高責任者とする推進体制を構築しています。

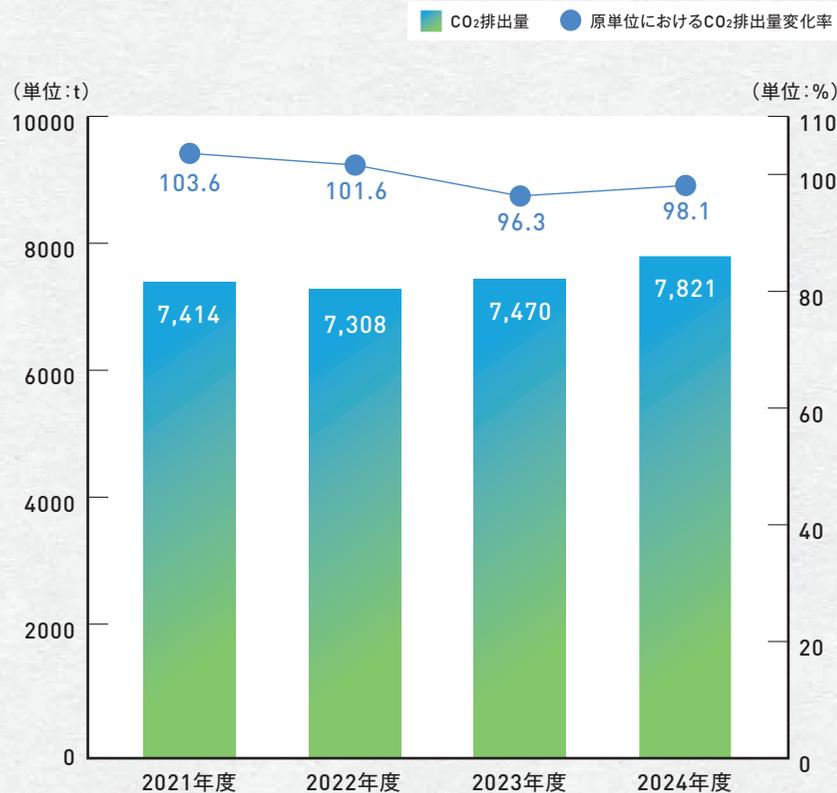
また、対象部署では各部長を環境保全責任者、各課長を環境保全推進者とし、部署ごとに1名以上の推進担当者を配置して活動の底上げを図っています。



脱炭素社会に向けて

施設内照明のLED化、省エネ機器の導入、社用車への次世代車両導入、太陽光発電の実施など、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。今後は生産工程を含めた業務効率の改善に重点的に取り組み、事業活動全体での脱炭素化を目指します。

エネルギー使用による二酸化炭素(CO₂)排出量の推移



自社植林のアカシア材を製品に使用

当社では、2004年5月よりマレーシア・サバ州で植林事業を開始しました。そして、2020年より成長したアカシア材を製材し、トレーラやトラックの床材として製品に使用しております。伐採した後は、挿し木苗による再植林をし再びアカシアを育て森を再生しています。これからも日本トレクスでは、持続可能な事業活動を行ってまいります。



環境リスクを減らすために

定期的な排水の水質調査

当社は、環境マネジメントシステムを運用するにあたり、法令順守を大前提に管理を行っています。定期的に排水・騒音・粉塵などを測定管理し、違反につながる事例については、早急に改善を行い、再発防止に努めています。



近隣住民の生活環境の保全

春と秋の年2回、事業所周辺にお住まいの方々へ騒音・粉塵・臭いなどでご意見がないか聞き取り調査を行い、地域住民の皆様との良好な関係を築くべく改善活動に役立てています。

車両プールの集約化

遠方に複数借りていた車両プールを集約することで、事業所間の回送距離が大幅に減少し、CO₂削減につながりました。



省エネルギー活動

モーダルシフト

完成品の陸送を行うにあたり、フェリー輸送を積極的に活用することで、エネルギー消費効率の向上およびCO₂削減に努めています。



自然エネルギーの有効活用

従来の音羽事業所の屋上太陽光パネルに加え、2024年2月に稼働開始した本社事業所E工場にも太陽光パネルを設置。

NAS電池蓄電システムを組み合わせ、本社事業所だけで年間約443tのCO₂削減効果を見込んでいます。



照明LED化

各事業所では順次照明のLED化を進めています。より明るい光を少量の電力で供給することが可能です。



SOCフリー化に向けた取り組み

当社では、『欧州廃車指令(ELV指令:End of Life Vehicle)』、業界団体である一般社団法人 日本自動車車体工業会の『環境負荷物質自主取り組み基準』および、お客様からの要求を踏まえ、2005年よりSOC(カドミウム・鉛・水銀・六価クロム)フリー化に取り組んでまいりました。結果として、トラック系に続いてトレーラ系においても、2010年度末に自主基準を達成しました。今後はエビデンスの徹底管理によるSOCフリー化の維持とともに、製品に対するお客様からの新たな化学物質管理の要求に適切に対応していくため、生産本部長をトップとする管理体制を敷き、化学物質の管理強化に取り組んでまいります。

溶接ヒューム規制対応について

溶接ヒューム(溶接のアーク火花によって蒸発した金属)にさらされることによる健康被害防止措置の取り組みの一環として、粉じん発生量により作業場ごとに電動ファン付呼吸用保護具、取替式防じんマスク、使い捨て防じんマスクの使い分けを行うとともに、職場に正しいマスクの使用方法を掲示するなど、従業員が安心して作業に取り組めるよう環境作りを行っています。



電動ファン付き呼吸用保護具



マスクフィットテストの実施



啓蒙ポスターを職場へ掲示

循環型社会に向けて

限りある資源を大切に利用するためにも、また廃棄物による地球環境への負担を減らすためにも廃棄物削減は重要です。当社では事業活動で発生する廃棄物削減とリサイクル向上に努めており、90%以上のリサイクル率を実現しています。今後はプラスチックゴミなどの廃棄物の総量削減に向けた取り組みを進めてまいります。

総廃棄物量の推移



リサイクル率の推移



産業廃棄物処理費用低減

スチレンやプラスチック・ビニールを社内で圧縮加工することで、処理費用の低減を行っています。



作業の様子



圧縮加工された廃棄物

明神祭の実施



11月の第1土曜日に明神祭を実施し、従業員やその家族、近隣の住民の方々を招待し地域との交流、地域への社会貢献の機会となっています。

会社見学の受け入れ



当社のことをもっと知っていただくため、地域の方々やお客様から要望があれば会社見学の受け入れを行っています。会社見学では事業内容や従業員の仕事内容を紹介するとともに、生産ラインなどを公開して当社への理解を深めていただきます。

職場体験学習生の受け入れ



就職後に実践的な能力を発揮できるよう、在学中に「学外実務訓練」をカリキュラムに取り入れる学校が増えています。当社もその要請に応えるべく、就業体験をしてもらうことで、就業意識の形成、キャリアプランの構築など、将来の就業に活かすことができるよう支援しています。

コンビニ経営



ローソン日本トレス店



オリジナルグッズ販売コーナー

本社事業所の敷地を利用してコンビニエンスストアを運営しています。一般のお客様にも広くご利用いただくことで、従業員の福利厚生としてだけでなく、暮らしやすい街づくりにも貢献しています。

工場周辺清掃活動



清掃活動の様子

きれいな街づくりは安全・安心の第一歩という考えのもと、工場周辺道路を中心に、定期的に清掃活動を実施しています。活動の結果、環境保全の意識が高まり、年々ゴミの量は減少しています。今後も継続した活動を実施することで、環境活動の保全に努めてまいります。

使用済み切手回収プロジェクトへの参加



回収BOX

使用済み切手 回収実績

2025年 2025年
2/21 ~ 12/8 回収分 **1,677g**
団体へ発送しました。
ご協力ありがとうございました！



認定NPO法人
世界の子どもにワクチンを
日本委員会(JCV)



社内活動報告

社会貢献への取り組みの一環として、当社で収集した使用済み切手を、NPO法人『世界の子どもにワクチンを日本委員会』へ寄付させていただきました。使用済み切手は、切手収集家の方々への販売により換金され、アジアやアフリカの保健医療協力のため、役立てられます。

編集方針

本報告書では持続可能な社会の実現に向けた、日本トレックスの取り組みを今後の計画とともに報告しています。

報告範囲・対象期間

対象組織 日本トレックス株式会社を中心にグループの活動を報告しています。

対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(一部記事には2025年4以降の内容を掲載しています。)

対象読者 日本トレックスに関わる全てのステークホルダーの皆さま

発行日 2026年3月